

# かんてつ 貫徹通信

発行責任者：おおや 徹

発行日 2014年4月【第18号】

発行者 大矢 徹

連絡先 0466(23)5711

<http://www.ohya-toru.com/>

[mail:ohya.toru@gmail.com](mailto:ohya.toru@gmail.com)

## 2月定例議会報告



2月藤沢市議会定例会が、2月17日から3月18日までの日程で開催されました。

主な内容は、平成26年度一般会計予算ほか他10特別会計予算、平成25年度一般会計及び特別会計補正予算、藤沢市市政運営の総合指針2016基本方針の策定、藤沢市いじめ問題対策連絡協議会条例の制定、藤沢市国民健康保険条例の一部改正などです。私は、市側が提案した議案に賛成し、すべて可決されました。

なお、平成26年度一般会計予算は、1,312億8,700万円で前年度比108.6%、特別会計予算は、1,208億2,631万円で前年度比107.6%、合計2,521億1,331万円で、前年度比108.1%となりました。

### 【平成26年度予算に対する意見・要望】

平成26年度予算に対して、各会派の予算討論が行われ、私が所属する「かわせみクラブ」からは、佐藤清崇（さとうきよたか）議員が賛成の立場で討論を行いました。概要は次のとおりです。

#### 【障がい者施策に関して】

##### ●共生に向けて

1月20日、政府が国連に「障害者権利条約」の批准書類を提出したことで、日本もようやく「障がいの有無によらない共生社会を基本とする」ことが確定した。

この条約では、障がい者を「福祉の対象」から「権利の主体」への変化を求めていることから、障がい者も「共に働き・学び・暮らす」環境整備が重要であると考えます。

##### ●教育について

昨年改正された学校教育法施行令では、就学について、これまで「原則、特別支援学校に就学」とされていたものが「本人や保護者の意向を極力尊重する」と改めた。受け入れ側（学校）としては戸惑い等あると思うが、「共に学ぶ」教育の実現に向けて積極的に取り組んでほしい。

また、共働き家庭に障がいのある子どもが出生した場合、多くは母親が仕事を辞めざるを得ない状況となっている現実があるが、仕事と子育てを両立していくためにも、児童クラブにおける受け入れについて、再度強く求める。

##### ●就労・生活について

「身体障がい者」のみならず、他の障がい者の雇用についても配慮するようお願いしたい。また、精神・発達障がいやHIVなどの免疫障がいに対する理解促進策を進めて欲しい。

昨年、障がい者の法定雇用率が2.1→2.3%に引き上げられたが、残念なことに本市では雇用率が満たされていない状況となっている。地域の牽引役としても雇用率を遵守すべきである。

障がい者の目線に立った歩道整備については、街路樹の成長に伴い、歩道の盛り上がり等が歩行に支障をきたしていることから、今一度、危険箇所の把握と計画的な整備を強く求める。

#### 【市政を支える組織体制について】

本市では、正規フルタイム職員とともに「多様な任用形態職員（再任用、任期付、臨時・非常勤等）」が市政運営を担っている。今回の「改正パートタイム労働法」では、「同一業務に従事している場合の正社員との均等待遇」が盛り込まれたことから、本市で働く非正規職員についても一時金等の不支給や雇用更新時の空白期間などの諸課題について今後の改善を求めたい。

また、正規職員については、時間外勤務が常態化し、年休取得率も改善していない状況にあることから、市民サービスの向上、職員のワーク・ライフ・バランス推進の観点からも見直しが必要と考える。とりわけ病院職場については早急な改善を求める。

#### 【自転車の交通安全について】

自転車走行時の無灯火や逆走など、ルールの徹底がされていない現状がある中で、道路交通法の改正を鑑みて、高校生や大人まで対象を拡大した交通安全教室の実施など、より一層の交通ルール遵守に向けた拡充を望む。

#### 【新庁舎整備について】

当初の予定を大きく上回る整備費がかかることについては、資材・労務費の高騰といった理由もあるにせよ、多くの意見を可能な限り取り入れた結果とも捉えている。

今後、我々といっても削れる部分は協力するので、引き続き費用圧縮に向けた努力をお願いしたい。

#### 【子宮頸がん検診拡充について】

若年層に多い子宮頸がん予防対策として、国の「検診無料クーポン」の対象を市単独事業として拡大するなど、経済的負担軽減策を進めていくべき。

一方で子宮頸がんワクチン予防接種に伴う副作用問題について、アンケートによる調査実施を決定したことは評価したい。副作用について深刻な状況も報告されていることから、市内の接種者の状況把握と保護者の不安の軽減を図るための丁寧な対応をお願いしたい。

### 「藤沢市いじめ問題再調査委員会」を設置

学校でのいじめ対策は、喫緊の課題の一つであり、昨年 9 月に「いじめ防止対策推進法」が施行されたことから、総合的な対策を図るため調査機関が設置されます。重大な事態への対処及び防止のため、必要があると認めるときに、再調査を行います。

### 労働会館と藤沢公民館を合築整備

労働会館と藤沢公民館は、耐震性が低く、老朽化が進んでおり、早急な建て替えが必要であることから、現在の労働会館の場所に藤沢公民館の機能を合わせた複合施設として整備することになりました。今後、平成 28 年度に解体して建築工事に入り、平成 31 年度から供用開始の予定です。

### 中学校給食を 2 校で試行

中学校給食の実施については、これまで様々な手法が検討されてきましたが、家庭からの弁当持参もしくはデリバリー給食の選択制とし、11 月から試行していくこととなりました。

試行する中学校（湘南台・善行）での検証を踏まえ、今後、全校に拡大していくか判断することになります。

### 学校給食調理室にエアコン設置へ

近年、建て替えられた学校以外の給食調理室は、エアコンが設置されておらず、砂・ホコリ防止の面から窓を開けることが出来ない中で火や油を取り扱い調理をしています。夏には室内の温度が上昇し、熱中症になる職員も少なくありませんでした。

そこで、調理室へのエアコン設置に向けて、会派の仲間と連携する中で訴え続けた結果、ようやく平成 26 年度に予算計上され、4 校にエアコンの設置が決まりました。

今後は、普通教室へのエアコン設置にあわせて、平成 30 年度までに全校設置となる予定です。

### 保育所整備の状況について

#### (1) 駅前賃借型認可保育所整備

待機児童の解消に向けた対策として、駅前の民間ビルへの賃借型認可保育所整備が進められています。

今回新たに、来年 4 月開所をめざして、湘南台地区に定員 90 名の運営法人が決まりました。

#### (2) 高砂保育園について

民設民営化が検討されてきた公立の高砂保育園については、一部在園児の保護者から反対の声が挙がったことから、意向を踏まえた事業者募集要項整備や引き継ぎ保育等の考え方などを整理する中で同意に至っていましたが、今議会において「公立保育園の民営化反対」に関する陳情が 3 件出されました。

市としては、保育所整備指針のガイドラインにおいて公立保育園は、保育行政の中心となる「基幹保育所」とそれをサポートする「地域保育所」として、地域の法人立保育園とのバランスや機能分担等を踏まえながら整備していく方針です。

私は、市の方向性は、公立・法人立それぞれが役割を果たすためのものであり、単に民営化を反対するべきではないと考えました。

陳情については「主旨不承」となっています。

### 寡婦（寡夫）控除のみなし適用について

ひとり親家庭に対する税法上の寡婦（寡夫）控除については、配偶者と死別・離別した場合に適用されますが、婚姻歴のない場合には適用されません。

このことにより経済的不利益を受けている家庭への支援策として、未就学児童のいる世帯を対象に、平成 26 年度から、「保育料や幼稚園等就園奨励費補助金」について、寡婦（寡夫）控除を「みなし適用」し、負担軽減を図ることとなります。

この適用については、私の所属する会派である「かわせみクラブ」の協議員が求めていたもので、実現できて本当に良かったと思います。

### おおや徹（ホームページ）のご案内

おおや徹ホームページは、開設以来、多くの方にご覧いただき、おかげさまで 18 万回を超えるアクセスをいただいております。

議会状況を迅速に報告しているほか、コラムでは趣味の食べ歩きを活かして、近隣の美味しいお店などを写真付きで紹介しています。

最近では、こちらの報告も楽しみにしているとの声も多くいただいております。

藤沢市をもっと良く知って好きになってもらえたらと思いながら更新していますので、是非ご覧ください！

～ある日のコラムより～

#### 『春へ』

私の住んでいる近くにある蓮池を通ったら、けっこうな人が望遠レンズを水面に向けている。通りががりに、何を撮ろうとしているのですか？と聞くと、「かわせみ」を狙っているという。大きい方の蓮池と行ったり来たりしているらしい。決定的な瞬間のシャッターチャンスを狙っているのだろう。今日は暖かく、蓮池の横にある早咲きの桜？が咲き始めていた。

#### 『テレビ番組』

夕食後、明日は外せない会議があり、熱もまだ下がっていないので、早く寝なければと思っている。そのような中、テレビのクイズ番組で、「2014年4月から実施されるものは？」という問いの中に、「国家公務員の給与の増額」とあった。この表現は、私から言わせれば不適當。国家公務委員の給与の回復が適切である。平成 24・25 年度に限り、国家公務員は、復興財源の確保から、人勸に伴わない 7.8% の給与カットをしたのである。従って、2014年4月から給与が上がるのではなく、給与が回復もしくは復元が正しい。こういう民間テレビ番組で、公務員給与の正しい認識が示されないことについて疑問に思うというか、もっと正しい認識を持ってほしいと思う。

ホームページでは議会状況の報告等を随時更新しています。みなさん是非ご覧ください。

アドレス：<http://www.ohya-toru.com/> を入力

もしくは

おおや徹

検索

クリック